

日本スポーツ整形外科学会誌（スポ整会誌） 依頼原稿執筆規定

1. 目的ならびに依頼者

日本スポーツ整形外科学会（以下、本学会）誌は、会員の診療・研究のより一層の向上を目的に、本学会学術集会での教育研修講演・シンポジウム・パネルディスカッションの演者の中から、本学会編集委員会での審議を経て、論文原稿を依頼するものである。なお、寄稿された論文は、編集委員会委員が主査として査読を行い、加筆・修正を求める場合がある。

2. 投稿方法

投稿は原則として、専用サイトからの電子投稿に限り、「利益相反自己申告書」、「二重投稿に関する誓約書・著作権に関する同意書」（いずれの書式も学会ホームページよりダウンロード）は、必ず著者全員が自署したものを同時に提出することを必要とする。形式は、MS-Word ファイルの添付に限る。ファイル名は「自身の論文タイトル名」とする。

3. 体裁

- 1) 概要：シンポジウム・パネルディスカッションについては、各演者が執筆する論文の最初のページに「概要」として全体の目的やまとめなどの内容を掲載する。「概要」は原則として座長が執筆し、文字数は 2,000 字以内とする。座長が複数の場合も「概要」は一つにまとめ、執筆者は座長の連名とする。
- 2) 論文：各演者が総説論文形式で執筆、文字数は 8,000 字以内とする。詳細は「4. 本文」を参照。
- 3) A4 用紙（40 字×35 行）を使用する。
- 4) 表紙は、和文の表題（副題は前後を全角ハイフンで挟む）、英文の表題、Key words 英文（和文併記）を 3 語のみ、著者名（和文、英文）、所属機関名（和文、英文）、連絡先を記載する。
- 5) 要旨は、和文原稿では（和文にて 1000 字以内）とし、表紙・本文とは別のページにまとめる。
- 6) とともに電子投稿画面上の所定の箇所へ入力するが、電子投稿画面上の「論文ファイル」の箇所に添付する MS-Word 一括ファイルにも 4）、5）の内容を含めること。

4. 本文

- 1) 文字数は、8,000 字以内、（表紙・要旨を含めず、文献・図表を含む文字数；図表とも 1 枚につき、組みあがり後のレイアウトでページの横幅半分以内で納まる小サイズのを 200 字、ページの横幅半分以上要する大サイズを 400 字換算とする。
なお、組み写真は構成される元の写真 1 枚ごとに 200 字換算とする。
例）大サイズの表 1 つ、小サイズのシェーマ 1 つ、写真 4 枚による組写真の図 1 つの場合、 $400 + 200 + (200 \times 4)$ で 1,400 文字と換算されるため、本文・文献は 6,600 文字までとなる。
- 2) 常用漢字、新仮名使いを使用し、学術用語は医学用語辞典（日本医学会編）、整形外科学用語集（日本整形外科学会編）及びその他の学会編集の用語集に従う。
- 3) 数字は算用数字（1、2、3・・・）を使用するが、成語はそのまま記載する（例：一

般、同一)。

- 4) 単位符号は CGS 単位を用い、単位符号の後ろに省略記号 (.) をつけない。
- 5) 日本語になる欧語 (例: ligament) はなるべく日本語を使い、人名はカナ書きを避け原語で記載する (例: Wrisberg 靱帯、Hoffa 病)。また、文頭と固有名詞以外の欧語は全て小文字とする。

5. 図表

- 1) 図 (写真も含む) は提出されたものをそのまま使用できるように、図中の矢印や文字など完成された状態で、なおかつ鮮明なものとする。図番号は図の下部分に明記する。
- 2) 図表のタイトル・説明文は、図表自体とは別に文字原稿としてまとめて添付する。
- 3) カラー掲載が必要な場合はその旨を各々の図番号の箇所に明記すること。
- 4) 学会側でのシェーマ図の作成 (リライトも含む) は行わず、元原稿をそのまま利用する。

6. 参考文献

- 1) 10 篇程度の重要なものとどめ、文献の配列は引用順に番号を付け本文中の引用箇所に肩見出し番号として記載する。
- 2) 文献の記載は下記の例に従う (JOS に準ずる)。なお記載する著者の数は 4 名以上の場合は 3 名までを連記し、あとは「ほか」「et al」と記載する。

<雑誌> 著者名. 表題. 誌名 発行年; 巻数: 頁.

例) 渡辺正毅. 関節鏡の使い方と見方. 関節鏡 1978; 3: 73-76.

Slocum DB, James SL, Larson RI, et al. Clinical test for anterolateral instability of the knee. Clin Orthop 1976; 118: 63-69.

雑誌略称は Index Medicus に準ずる。Proceeding または学会抄録は表題の頁のみ記載する。In press の文献は原則として引用しない。

<単行書> 著者名. 表題. 編者. 書名. 版. 発行地: 発行者 (社); 発行年. 引用頁.

例) Watanabe M, Takada S, Ikeuchi H, et al. Atlas of Arthroscopy. 3rd ed. Tokyo: IgakuShoin; 1978. 56-71.

例) 富士川恭輔. 膝関節の発生. 富士川恭輔編. 膝の臨床. 初版. 東京: メジカルビュー社; 1999. 2-5.

7. 著作権

本学会誌掲載後の著作権は本学会に帰属し、掲載後の再投稿、他誌への転載は本学会編集委員会の許可を要する。しかし、教育、研究、学術活動を目的に著者 (共著者含む) が論文・講演原稿の全部、もしくは一部の複製を行うことは、以下の附則を遵守することを条件に本学会の許諾なしに認める。ただし、第三者による複製、商業活動・宣伝目的の複写には、本学会もしくは本学会が著作権の管理を委託した機関の承認が必要となる。

附則 1: 全体の複写は必ず表紙ページを含み、論文の表題、掲載雑誌名、巻数、ページ数が明示されねばならない。

附則 2：図、表の使用はその出典が明示されねばならない。また、部分的な変更を加えた場合にも原図の出典が明示される必要がある。

附則 3：複写・転載が、第三者による商業活動・宣伝目的に相当するかどうかの判断は、本学会編集委員会の判断によるものとする。

附則 4：本学会編集委員会が、第三者による商業活動・宣伝目的に相当すると判断した複写・転載については、所定の著作権使用料納入が必要である。また、他誌・他書からの図・表の引用に関しては、著者は事前に一次掲載元へ転載許諾申請をし、許可書を投稿時に添付すること。本学会雑誌論文掲載の際は、「〇〇より引用」などと引用元を明記すること。

8. プライバシー保護

臨床研究はヘルシンキ宣言に、動物実験は各施設の規定に、それぞれ沿ったものとする。患者の名前、イニシャル、病院での ID 番号など、患者個人の特定可能な情報を記載してはならない。

投稿に際しては「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針（外科関連学会協議会：平成 16 年 4 月 6 日）」

https://jp.jssoc.or.jp/modules/aboutus/index.php?content_id=44 を遵守すること。

9. 利益相反の開示

本学会誌は、寄稿される論文の内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係、その他個人的な関係を明示するよう求める。特に研究に対して受けた営利企業、各種団体からの支援（金銭、物品、無形の便宜を含む）を開示することが必要である。研究内容に関わる場合は具体的に支援内容（資金、物品、人的提供、測定など便宜供与の実態）を記載する必要がある。

10. 査読著者校正

著者校正は原則として 1 回のみとし、メールにて案内するオンライン校正のみとする。査読は主査（1 名）が誤字脱字の確認を行う程度とするが、加筆・修正を求める場合がある。

日本スポーツ整形外科学会誌 編集事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館 14 階
三美印刷株式会社内

TEL: 03-6807-8116 FAX: 050-3134-7643 E-mail: jsoa-journal@sanbi.co.jp

一般社団法人日本スポーツ整形外科学会（JSOA）事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング株式会社ユングレ内
TEL: 03-3510-3744 FAX: 03-3510-3748 E-mail: info@jsoa.jp

以上

2025 年 3 月 4 日適用